



中国語名称

台北二二八紀念館

かつての放送局が伝え続ける 人権の軌跡

1997年2月28日、二二八事件50周年を機に、台湾で最初の二二八紀念館が台北市政府により設立されました。当時の市長はのちに総統となった陳水扁氏です。紀念館の建物は1931年に落成した台北放送局で、1945年末に「台湾廣播電台」と改称されたものです。二二八事件発生後、放送局は情報を台湾全土に伝える役割を果たしましたが、情報機関から全島に向けて決起を扇動したという罪を着せられました。1949年末、中国廣播公司の本部となり、1972年に本部が移転した後、市政府に返還されました。1997年、市政府による紀念館の開設により、かつて放送局だったころの記憶が呼び起こされることになりました。



SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ
https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_north/208/



エリア

台北市

テーマ

歴史

政治

人権

16



学 び の ポ イ ン ト

1.

台湾人の自治運動とは何か？

二二八事件前後、社会エリートが提出した改革要求は、日本統治期の自治運動の目標でもありました。1920-30年代、台湾知識人は文化啓蒙運動や自治運動、農民運動などを展開しましたが、戦時期に入ると、すべての改革要求が葬り去られました。戦後、知識人はそれまでの異民族による統治に代わる「祖国」の到来に大きな期待を持ち、民主化や社会改革の要求を提出しましたが、その回答は武力鎮圧と中国化教育でした。展示では、このようなシナリオで事件の真相が説明されています。

2.

なぜこの建物を記念館に選定したのか？

この建物は日本統治期の台北放送局です。戦後、すべての放送局は政府に接収され、台湾廣播電台と改称されました。事件発生後、台北住民は直ちに新公園内の放送局に押しかけ、全島へ台北の騒乱状況を放送せよと要求しました。また、政府高官と議員はほぼ毎日放送局に来て、全島へ知らせたい情報を放送しました。そのため、年月を経ても、ラジオ放送の記憶が依然として年長者に残っていたのです。放送局は歴史の現場の建物だったわけで、これが記念館に指定された主な理由です。また、台北駅と総統府に近く、交通が便利なのも理由の一つでした。

3.

二二八和平紀念公園とは？

日本統治下の1908年、台北公園が開設され、北側に児玉・後藤記念館(現・国立台湾博物館本館)が建てられました。円山公園の後に落成したので、その後、台北新公園と改称され、戦後もそのまま「新公園」の愛称で市民に親しまれました。1996年、園内に二二八和平記念碑を設置、公園も二二八和平紀念公園と改称し、翌年、台北二二八紀念館が開設されました。